

1. オリエンテーション(市からの情報提供)

- ・第4回会議のテーマ「みんなでまちをつくるために」に関する情報提供を、統計データや市民アンケートの結果をもとに行いました。

2. グループワーク

前提条件

- ・以下3点の課題について、市の宝もの・問題もの、市民・行政の役割を検討しました。

- ・幸手のことを、市民にも市外の人にも、もっと知ってもらうためにはどうすれば良いか。
- ・一人ひとりが活躍できる、地域力の高いまちにするためにはどうすれば良いか。
- ・幸手のまちづくりをみんなで考える仕組みをつくるためにはどうすれば良いか。

- ・グループワークは前回同様、2班(A班、B班)に分かれ実施しました。



グループ内での検討風景



グループ内での検討風景

検討結果

- ・検討した結果、以下のような主な意見がありました。

	宝もの・問題もの(ご意見の一部を紹介します)
幸手のことを、市民にも市外の人にも、もっと知ってもらうためにはどうすれば良いか	・市のホームページが行政情報の周知が主体となっていて、かたい印象を受ける ・幸手市のイメージが「桜」に偏っている。
一人ひとりが活躍できる、地域力の高いまちにするためにはどうすれば良いか	・自治会、若妻会、農業後継者の会など、様々な助け合いや話し合いの場がある ・各町内で、高齢者のサロンや食事づくりなど、コミュニティ活動が行われている ・高齢者や女性を中心となった活動が多く、中高年が活躍できる場所がない
幸手のまちづくりをみんなで考える仕組みをつくるためにはどうすれば良いか	・活動している人の高齢化が進んでいる ・若い人のニーズがわからない ・市民パワーはあるが、市民の能力を活かせるしくみがない



	役割(ご意見の一部を紹介します)
主な市民の役割	・「幸手を変える会」などを立ち上げて、いろいろな年代や職種の市民を巻き込んだ活動を展開する ・自分たちのやりたいことを、NPO等によって実現する ・市議会議員と若者が意見交換できる機会をつくる
主な行政の役割	・若者が読んでも楽しい広報紙をつくる ・NPOを設立するまでの手順についてのアドバイスや支援などを行う ・「まちづくり」市民講座を開催し、受講者がまちづくりに関わられるようにする